OBM ONLINE
OTA Bunkano Mori
大田文化の森運営協議会発行情報誌
おおた文化の森
Vol.18 2006 January 冬

「冬」、人々の暖かさが心にしみる季節。

冬号目次

■ 運営協議会は今
文化プレーヤー訪問研修会　委員 山本直子
運営協議会スケジュール
■ 活躍する文化プレーヤー
「収穫祭」奮闘記
文化プレーヤー紹介
■ Event Calendar
「たねまき祭」 準備は順調に進行中
防災フェスタin大田文化の森／廊下ギャラリー
運営協議会の催し案内
■ Cullture Information
散歩で会った花／知っとくナッ得
表現力を育み、地域と協働する道塚小学校
表紙の人物　吉屋信子

最新号 Vol.19
バックナンバー
vol.12夏号　vol.13秋号
vol.14冬号　vol.15春号
vol.16夏号　vol.17秋号
vol.18冬号

お知らせ

お待たせいたしました。インターネット版OBM最新号を公開いたしました。冬号も情報誌と同時公開！冬らしくホットな情報満載でお届けします。

大田文化の森運営協議会Webサイトもご覧下さい。
ご意見ご感想はこちらまで bunkanomori@nifty.com

2005 OTA Bunkano Mori. All rights reserved.

運営協議会は今

文化プレーヤー訪問研修会　すみだ学習ガーデンとの交流を終えて

〈一日有意義に過ごせて楽しかったわ。〉〈グループ毎の交流時間がもっと欲しかったわね。〉・・・。
すみだ学習ガーデンとの交流研修会を終えて「文化の森」に帰着した際、バスのステップを降りながら聞こえてきた参加者の感想です。
去る12月3日、未明に雹（ひょう）が降ったという日の午前9時、総勢30名の参加者を乗せ、バスは一路墨田区へと向かいました。目指すは墨田区の「ユートリヤ」。交流研修会の会場です。
研修相手の「すみだ学習ガーデン」という活動団体は、平成六年に設立され平成12年にNPO法人化した、区民による生涯学習の推進組織です。自主事業と受託事業の二つを大きな柱とし、自主事業は五つの「部」とNPOサポートセンターから成り立っています。
そしてその中には「学習サポーター」と呼ばれる多数の区民が関わっており、広報も含めた講座事業のサポート活動をしています。この「学習サポーター」はすみだ学習ガーデンの事業運営を支えるボランティアで、文化の森における「文化プレーヤー」とほぼ等しい位置づけの区民です。

司会する筆者

交流研修会風景

今回の企画は、そのボランティアサポート活動を続ける双方の皆さんの情報交換・意見交換を主目的として実施しました。
運営協議会として、同様の活動を展開している他団体との交流は数年前から続けていますが、従来は委員を主とした交流であり、また、訪問するのではなく迎え入れるケースがほとんどでした。今回訪問をしての交流研修に踏み切ったのは、文化プレーヤーの方々に、今後も積極的に活動をしていただくためと、施設そのものも含めた他団体の状況をぜひ知っていただきたかったからです。
当日は、グループディスカッションを中心とした三時間のスケジュールも瞬く間に過ぎ、グループによっては「もっと時間を・・」という声も聞かれました。一度の交流では、相互理解を深める事も儘ならないかと思いますが、市民活動を活性化させるためにも、様々な団体との交流研修を続ける必要があると考えます。

寒さ厳しい一日でしたが、研修を終え「ちゃんこ鍋」に舌鼓を打った昼食時と午後訪れた「江戸東京博物館」は、心潤うひと時であったと思います。
ボランティアサポート活動に対する今後の課題をお土産に、薄墨色の大森へと帰り着いた一日でした。

（運営委員　山本直子）

ちゃんこ鍋を囲んで
楽しいひととき

運営協議会スケジュール

1月6日（金）～3月31日（金）のスケジュール
■文化会議（第1・3金曜日19:00～21:00）
1月6日・20日、2月3日・17日、3月3日・17日
＊文化会議は運営協議会の最高議決機関で公開です。いつでも傍聴できます。

■役員会（文化会議のある週の火曜日13:30～15:30）
■実行委員会
　○芸術事業プロジェクト（金曜日19:00～21:00）1月27日、2月24日、3月24日
　○誰でも楽しめるプロジェクト（月曜日19:00～21:00）1月13日、2月6日、3月6日
　○子ども・若者プロジェクト（金曜日13:30～15:30）1月13日、2月10日、3月10日
　○まちづくりプロジェクト（木曜日10:00～12:00）1月12日、2月2日、3月2日
　○異文化交流プロジェクト（木曜日18:30～20:30）1月19日、2月16日、3月16日
　○サロン交流会プロジェクト（火曜日19:00～21:00）1月17日、3月28日（多目的室にて開催）
　○収穫祭プロジェクト（水曜日19:00～21:00）1月18日、2月15日、3月15日
　○たねまき祭プロジェクト（金曜日19:00～21:00）1月13日、2月10日、3月3日・11日（イベント当日）

2005 OTA Bunkano Mori. All rights reserved.

新春会によるお囃子

活躍する文化プレーヤー

「収穫祭」奮闘記
～大田文化の森、三大イベントの賑わいと華やぎ～

11月3日は良い天気に恵まれました。実施日直前の予定変更や、準備不足などのテンヤワンヤがありましたが、成功の秘訣はたくさんの文化プレーヤーと運営協議会委員の涙と汗と努力かも知れません。文化プレーヤー永宮なみ江さんより、奮闘記を寄せていただきました。来年への貴重な提言です。
奮闘記～準備から当日まで

今年4月から実行委員会を数回開き、焼きそば・綿菓子等の案が出たため、地域の盆踊り大会担当者のところに行って、綿菓子の機械を貸して下さいとお願いをし、また、夏祭りの時の焼きそばの道具一式をお借りすることができました。

「やきもののアンパンマン」を作ろう！

「焼きそばおいしいよ！

模擬店では、佐伯栄養学校の生徒さんたちにも参加していただき、メニューについて何回も打ちあわせと試食会を行い、さらに打ち合わせ！　を重ねながらヘルシー弁当が出来上がりました。鮭五目、赤飯、ヘルシー弁当の三品を当日販売しました。大変好評でした。模擬店でお手伝いして下さった文化プレーヤー、その他多数の方たちに大変感謝しております。

「後記」
永宮さんは「交流会」の裏方としても手腕を発揮されました。その活躍ぶりに脱帽。

（文化プレーヤー　永島俊子）

03　文化プレーヤー紹介 実行委員のみなさまを順次紹介します。

河原佳子さん　カラオケ・盆踊りプロジェクト実行委員長

一昨年、昨年と「まちづくりプロジェクト」実行委員長として活躍され、次々と新企画を発案し、多くの夢を実現させています。
あの一見華奢な体の何処から、すばらしいアイディアやひたむきな情熱、パワフルなエネルギーがほとばしり出てくるのでしょうか、驚くばかりです。
今後も大田文化の森を、より良いものにしていく原動力となってくれる方だと確信しています。

（文化プレーヤー　宗　正雄）

里見知香さん　子ども若者プロジェクト実行委員長

大田文化の森に興味を抱き、飛び込んでこられたニューフェイスです！

未経験ながら、現在「子ども若者プロジェクト」実行委員長として一生懸命頑張られています。
四年間アメリカで美術を学び、その後、京都で茶道を修行した、独創性豊かな個性の持ち主。
「子どもが大好き。自分が役に立てるなら何でもやります。」と熱く語る里見さん。
大田文化の森に新しい風が吹いています。

（運営委員　大島悦子）

2005 OTA Bunkano Mori. All rights reserved.

■イベントカレンダーはこちらをクリック　スグにイベントのカレンダーをご覧になれます。

「たねまき祭」準備は順調に進行中

ねまき祭実行委員長　染谷　昇

昨年の実行委員会のホールでの発表

■「たねまき祭」は大田文化の森運営協議会・実行委員会の「05年度の報告と06年度の展望」を区民の皆様に発表する日です。この一年の活動内容を確認し、これから始まる年に向けて気持ちを一つにする目的で開催します。

■三つの「わ」
今年度の統一テーマは三つの「わ」です。
1、「和」お互いに、安心して、和やかに、やさしく支えあおう。
2、「輪」お互いに、出会いの場をつくり、ふれあい、交流の場を広げよう。
3、「話」お互いに、ミッションを共有し、やりたいことの全体像を話しあって、自己実現に努めよう。

参加者が一緒になることを考えて、準備中です。今回は皆様が参加しやすいように午後からの開始になります。また、交流会の中で、参加者全員で「ジャンベを叩こう」を企画しています。
来年度の大田文化の森を考えるチャンスの場です。大きな意味のある集まりにしましょう。
大田文化の森運営協議会の事業の全容を見ることができる、よい機会です。区民の皆様のおいでをお待ちしております。

「ジャンベ（アフリカの太鼓）」の体験

■3月11日（土）
ホール・多目的室・展示コーナー等を使って開催します。

〈主なプログラム〉
a大田文化の森運営協議会・実行委員会の発表　午後1時～4時15分／ホールで開催。
bセレモニー、交流会（参加費500円、皆様ご自由に参加してください）午後4時30分～7時／多目的室で開催。

（実行委員長　岩井祐一）

防災フェスタin大田文化の森

“高めよう!!　住民一人ひとりの防火・防災意識”
平成18年2月26日（日）10:00～16:30
昨年首都圏下で6,747件（前年比8.2%増）もの火災が発生し、大規模地震が切迫しているとも言われています。
平時より被害を最小限に食い止めるために、住民一人ひとりの防火・防災意識の向上をめざして「防災フェスタ」を開催します。イベントも盛り沢山、皆様お誘いの上、ぜひご参加ください。参加無料。
★ホール（12:30～）／吹奏楽演奏／講演「首都圏下に予想される大規模地震と被害想定について」／講演「新潟中越地震での医療ボランティア体験」／大声コンテスト／落語

★ホール・ホワイエ／新潟中越地震の写真展、防災グッズの展示&即売会
★広場／消防少年団演技／はしご車・起震車・煙体験、ミニカー・子ども消防服体験／初期消火器訓練
★第1スポーツスタジオ／救急救護・消防教室・防災展示
★展示コーナー／防災展示／携帯電話の伝言ダイヤル実演／防災マップ展示
★集会室／防災企画／非常食の展示・試食&即売会／非常食の美味しい食べ方・レシピコンクール
★クイズラリー

後援：大田区

（まちづくりプロジェクト実行委員長　宗　正雄）

廊下ギャラリー

立体のものも展示できる
アート・ボックス

＜立体作品の展示が可能になりました！＞

●2004年と2005年に出展くださった方が11組になりました。出展作家の皆様、廊下ギャラリーを見に4階に足を運んでくださった皆様、どうもありがとうございました。
2006年も新春第一号として関野英文さんの『八重山の写真展』を1月11日から25日に開催します。来館の際はぜひ廊下ギャラリーにお立ち寄り下さい。
●展示用に新しいアートボックス（38×28×23ミリ）を6枚用意しました。アートボックスなら、手芸品、折り紙、お手玉など厚さ25ミリまでの立体作品の展示が可能です。ぜひ活用してください。
●ギャラリーの運営を一緒に担ってくださる方を募集しています。いろいろな作家に会ったり、月1～2回のミーティングでわいわい話し合ったり、楽しいですよ。興味のある方は事務局に連絡してください。

（運営委員　ヤマモトユウコ）

大田文化の森運営協議会公募による事業

■公募による事業とは
区民の文化活動を支援するために、実施したい企画、また、運営協議会に実施してもらいたい企画を募集。団体や個人が実施する企画に、使用施設・宣伝手段などの助成をします。

■3時のおやつをごちそうさま！
親とお子さん、おばあちゃんとお孫さんで手作りおやつを作りましょう。わが家の味が一番！を目指します。
開催日時：1月29日、2月19日、3月19日（各日曜日）12:30～15:30
定員：抽選で12組（小学3年生以上～高校生までと保護者）
参加費：1名分2400円／申込：1月20日必着

■子どもの食生活とお弁当づくり
幼稚園児のお弁当と生活リズムについての講座。幼児の基本的な食生活とお弁当作りのアドバイスなど。
開催日時：1月30日（月）10:00～11:30／定員：抽選で30名（未就園児・在園児の保護者）／参加費：無料（保育希望者は名前・月齢を明記、1名500円）／申込：1月20日必着

■東海道談義
東海道にまつわる話や旅日記などを、講師の自転車旅行の体験を交えながら話を聞き、参加者同士の交流も行う。3回目には東海道フィールドワークとして大森海岸から蒲田付近までを解説を聞きながら歩行する。
開催日時：3月5・12・19日（各日曜日）13：30～16：30（最終日のみ17：00まで）／定員：抽選で30名（1枚のはがきに2名まで申込可能。申込時に参加者全ての方の名前、住所、年齢、電話番号を明記）。／参加費：500円（団体行動中の保険代を含む）／申込：2月17日必着

■ビデオカメラ入門講座
ビデオカメラは基本さえ習えれば、素人でも上手に撮れます。子どもの成長、旅の記録など撮ってみませんか。ビデオの写し方、編集の仕方を習います。
開催日時：4月7・14・21・28日（各金曜日）13：30～16：30／定員：抽選で20名（ビデオカメラをお持ちの方）／参加費：800円／申込：3月17日必着

大田文化の森運営協議会主催事業

ひと・まち・もの・だれにも・いいたい・じまんしたい

散歩で会った花

軒先で会った花にふと歩を止めてしばし見入っていたことはありませんか。
たとえばこの花可愛いね！　綺麗な花ですね！　美しいね、或いはこんな花があったの？　見るのは初めてだね、名前が分からない、調べてみようかな？と感じる方も多いと思います。
このコーナーでは皆さんが近所で、又は散歩がてらに発見された（ちょっとオーバーかな）花がこんな所にあるよ、ぜひ見に来て下さい！　といった花を紹介します。
そんな花の名前、写真、見かけた場所、お名前（差し支えのない方）及びその時の感想などをお寄せください。
そこで、今回は近くでちょっと珍しい？　花の見られる場所とその時期を紹介します。

白木蓮

a平和島公園の中の梅林。70本くらい。種類も多く、長期間楽しめます。問合せは、公園事務所（電話3764-1414）まで。
b「陽光（ヨウコウ）」開花は4月初め頃。
アマギヨシノとカンヒザクラの交配種。春日橋陸橋脇のマンション前を環七に平行して沢田通りに向かって直進する通りの街路樹として、約40本あります。これは葉が出る前に開花する緋紅色の一重咲きの桜です。
c「河津桜」（早咲き）三月中頃、龍子記念館前にあり、龍子が伊豆河津から持ち帰って植えたもの。
d「白木蓮」三月下旬。蒲田駅南口商店街、通称ユザワヤ通りに約10本。昨年は天をもつかむばかりの見事な白一色。必見。

お会式桜

e「お会式桜」
『弘安5年10月13日宗祖御入滅に際し、庭前の桜花時ならぬに開いて法性の春を表したという。お会式に桜をさす由来はここに始まる。今でも十月の頃開き当時の故事を伝えている』と、立札に記されています。池上、大坊本行寺境内にあります。
（文化プレーヤー　森本　謙司）

〈編集部より〉
身近な所で思わぬ花に出会うことがあると思います。皆様からの投稿をお待ちしております。

知っとくナッ得　「花き」って何の事？

平和島にある大田市場に行った事はありますか。
区民でも意外に大田市場の事を知らない人が多いですね。平成元年に完成した大田市場には、鮮魚部・青果部・花き部があります。
この中の花き部の「き」は何の事かといいますと、花きの本来の文字は花卉と書き、花の咲く草の意です。
今は元の卉の文字は殆ど使用されず、法律用語でも「き」の字が用いられています。市場の中で働いている人々は年々、代替わりが進んで

若い人が多くなり、花きの意味を知らずに働いている人が殆どになりました。
この花き部の建物は、もともと鮮魚部・青果部の隣に建てられる予定だったのですが、諸般の事情で遅れたため、予定の場所に野鳥が居着いてしまいました。心優しい関係者たちはその場を野鳥に譲り、道路一つ隔てた今のところに建てられたのです。野鳥が居着いた場所は、現在、「東京港野鳥公園」として整備され、開放されています。

大田市場　花き部の外観と案内板

青果部の年配の仲買人に聞いた話では、「神田市場から移転してきた人たちは、今でも神田祭の一番神輿を担いでいる」と自慢しています。
ところで、耳寄りな嬉しい話があります。鮮魚部の入っている鯛のマークのついた水産棟のみ、毎月の最終土曜日は「大田市場感謝デー」として誰でも買物ができます。
それに、大田市場では、年に一回「大田市場まつり」が行われ、市場開放されています（今年は10月16日でした）。申し込めば市場見学もできますよ。大田市場へは大森駅・品川駅より直通バスがあります。

〒143-0001大田区東海3-2-8（東京都事務室業務課）電話：03-3790-6520

（平和島　楽爪　善也）

投稿案内

このページは読者でつくります。感想、お勧めイベント・地域のほっとする情報、コラム、提言などお寄せください。
氏名（ふりがな）、電話番号を明記。掲載させていただく場合、手直しすることがあります。原稿はお返しいたしません。ご了承ください。

おおたの学校
表現力を育み、地域と協働する道塚小学校
～大田区で初めて中学校から小学校校長として着任された山本恵美子先生に取材しました～

■小学英語を通して豊かな表現力を
6月30日、大自然に恵まれたアメリカコロラド州から来た、東京実業高校交換留学生八名との「国際交流の会」で、心温まる交流を持ちました。
アメリカの高校生は日本語で自己紹介をしました。このことには、児童たちは大変驚き、英語学習の必要性を実感したようです。そして、給食の時間には、言葉の壁を越え、友だち同士になっていました。
このように、感性が豊かで柔軟な小学生の時に「英語」と出会うことには大変意義深いものがあります。
また、10月12日、大田区教育研究会で、山本校長と担任が六年一組の児童に英語の研究授業をしました。

交換留学生との交流

テーマは「あなたの誕生日はいつ？」です。英語で相互に誕生日を聞いたり言ったりして、「小学生だって楽しく英語を話せるよ」という姿を小中学校の先生方90名の前で発表しました。
英語を通して、日本語の美しさに気づき、日本語に誇りを持ってほしい。また、日常会話だけではなく、日本の文化をきちんと相手に伝えるために、日本のことをもっとよく知ってもらいたい。言葉としての英語を学ぶことは、このための手段であって目的ではないのです。このことが、中学校の英語教師であった山本校長の切なる願いであり、大きな夢なのです。

■地域で運営するしくみ
学校には、地域の未来を担う子どもたちがあふれ、地域には、子どもたちに伝えたいことをもつ大人がいます。学校は、地域の大人と子どもたちとの出会いの場です。
この出会いの活動を成立・継続させるしくみとして、ここには「施設活用委員会」があります。昭和60年に発足し、20年の歴史を持つこの組織が「地域とともにある学校」をつくり上げるための受け皿

展覧会での地域コーナー作品

となっています。

（運営委員　河合良治）

吉屋信子（作家）
1896～1973 新潟生まれ

表紙の人物　吉屋 信子

1896（明29）年、新潟県に生まれる。8人兄弟の五番目で、小学生時代からキリスト教会に通い、竹久夢二の絵物語に心奪われる多感な少女だった。
女学校卒業後上京、『鈴蘭』『桜草』等を発表して少女小説の作家として知られた。又通俗小説と呼ばれる『空の彼方へ』等で純粋な女同士の愛を描いた。
1925（大14）年の一時期、大森不入斗（いりやまず）に住み、宇野千代らと交流した。1962（昭37年）鎌倉の由比ガ浜に居を定め、晩年に『徳川の夫人たち』『女人高野』をここで執筆した。1973（昭48）年、死去。享年77歳。没後、自宅は鎌倉市に寄贈。
市は「吉屋信子記念館」とし、女性の文化教養の向上を図り、市民の生涯学習の場として利用。また建物は「神奈川の建築百選」に選ばれている。墓所は高徳院の裏山にひっそりとある。独身の信子に家族はいない。「淋しいですよ。訪ねる人も、花が供えられることも稀です」墓守の人の話である。
急にざわざわと風がわたり、どんぐりがころっと落ちてきた。
（文化プレーヤー　永島俊子）

（文化プレーヤー　永島俊子）

ティーラウンジすばる

ティーラウンジ すばる

大田文化の森一階
フトドリンク／ビール軽食／デザート／各種セットメニュー

冬、心温まるおすすめ
・梅おぼろうどん（ゆずの香りに誘われ　当店ピカーの商品です）
・あんみつ（おいしいお茶と共に）

情報誌OBMはここにあります

■区内公共施設
図書館、文化センター、区民センター、地域行政センター、特別出張所、エセナ、こらぼ大森、産業プラザ、アプリコ、区民プラザ、大田文化の森、その他
■その他
区内郵便局、区内城南信用金庫各支店、東京都民銀行（大森・蒲田支店）、近隣地域協力商店など

編集後記

●投稿ありがとうございました。
●「散歩で会った花」はいかがですか。あなたの地域の花便りを読者にもお分けください。
●地域が学校と関わるしくみの事例を紹介しました。「道塚小学校」の活動は、教育委員会発行の「おおたの教育」（10月1日号）に載っています。（Y・K）

編集サポーター募集！
この情報誌を共に創る方を募集します。読者の喜び・楽しみが報酬です。 （活動内容） ①取材、記事作成、編集サポート 　第1・3月曜日14時～16時（編集会議）その他随時取材等あり ②情報誌発送作業　2時間程度 宛先：〒143-0024　大田区中央2-10-1　大田文化の森運営協議会情報誌編集長 　　TEL 3772-0770／FAX 3772-0704

2005 OTA Bunkano Mori. All rights reserved.